

## 再発防止策の進捗状況 (2020年3月31日時点)

### 進捗状況の分類

**着手** 具体策の詳細検討中   **実施中** 具体策の実施中   **完了** 具体策の完了   **その他** 状況に応じて対応

※「完了」後も継続すべき具体策は、継続してまいります。

※更新箇所は、No欄をハイライトしております。

### (3) 検査体制・方法の改善 <No40~51>

#### ①検査体制

##### i) 品質保証機能の独立性強化

▶戻る

#### 具体策

KSMにおいて、品質保証部が性能検査及び立会検査の全てを実施し、その結果を管理する等、製造部門から独立した部署による品質検査の実施を行う。また、全社・全グループにおいて最終合否判定に関わる検査員を製造部門以外への所属とする等、品質検査の独立性も強化する。

| No | 詳細  | 実施または完了予定年月                 | 進捗状況       |
|----|---|-----------------------------|------------|
| 40 | a.KSMでは、性能検査及び立会検査の全ての検査を品質保証部員が実施する体制にしております。<br>■ 2019年1月完了 (2019年7月5日公表済)                                | 2019年1月完了<br>(2019年7月5日公表済) | <b>完了</b>  |
| 41 | b.当社(KYB)及びKSM含む国内グループ企業の最終合否判定に関わる検査員を製造部門以外への所属とする等の異動が、完了しました。また、現在も海外グループ企業の現状調査と独立性の強化について活動を継続しております。 | 2021年12月<br>完了予定            | <b>実施中</b> |

##### ii) オイルダンパー立会検査時の検査方法の改善

▶戻る

#### 具体策

本再発防止策に基づく品質管理方法が確立するまでの間、減衰性能検査における第三者機関の全数立会検査を継続する。併せて、立会検査の代替方法として、第三者機関が生データを外部から随時チェックできる仕組み等の検討も行う。

| No | 詳細   | 実施または完了予定年月  | 進捗状況       |
|----|--|--|------------|
| 42 | a. 第三者機関による全数立会検査を継続しております。また、希望する発注者様による立会検査も実施しております。  | 2018年11月<br>開始                                     | <b>実施中</b> |
| 43 | b.KSMでは、2019年10月から導入を進めていた新検査システムにおいて、発注者様及び発注者様が指定する第三者機関が、社外サーバを介して検査情報をチェックできる仕組みに関して2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定、2020年5月に稼働予定で新検査機への一連の仕組みの導入を完了する見通しです。今後、本新検査システムの仕組みを本格運用するとともに、既設の全検査機についても同システムへの移行を順次行ってまいります。 | 2020年4月に<br>第三者審査及び<br>評価を完了予定<br>2020年5月に<br>稼働予定 | <b>実施中</b> |

##### iii) 検査マニュアルの整備

▶戻る

#### 具体策

オイルダンパーを含む当社グループ全製品の全検査行程にて、熟練検査員のカン・コツに頼っていた検査・判断をマニュアルとして整備する。

| No | 詳細  | 実施または完了予定年月     | 進捗状況       |
|----|---|-----------------|------------|
| 44 | KSMの検査工程にて熟練検査員のカン・コツに頼っていた検査・判断のマニュアル整備を完了後、当社(KYB)及びKSM以外のグループ企業の当該マニュアルの整備と運用状況について、当社の品質本部が、2019年度の品質監査計画で確認を行い、全予定を終了しました。現在、不備のあった事業、拠点等に対してマニュアル整備または、運用のフォローを実施しております。<br><br>2019年度計画と実績 | 2021年3月<br>完了予定 | <b>実施中</b> |

- ・当社(KYB)：4拠点中、4拠点完了
- ・国内グループ企業6社中、6社完了
- ・海外グループ企業12社中、12社完了

このページの先頭へ

## ②検査機の不正防止措置

### i) オイルダンパー検査機のソフトウェア変更の社内手続厳格化

▶戻る

| 具体策   |  |                             |      |
|---|--|-----------------------------|------|
| オイルダンパー検査機のソフトウェア変更手続きについて、KYB本社品質管理部の承認取得を義務づける。 |  |                             |      |
| No  | 詳細   | 実施または完了予定年月                 | 進捗状況 |
| 45  | オイルダンパー検査機では、検査システムのソフトウェア変更の際は、当社(KYB)の品質本部の承認を必要とする旨の「変更管理規則」の改定を実施いたしました。<br>■2019年4月完了（2019年7月5日公表済） | 2019年4月完了<br>(2019年7月5日公表済) | 完了   |

### ii) オイルダンパー検査機ソフトウェアの定期的モニタリング

▶戻る

| 具体策   |   |             |      |
|---|---|-------------|------|
| 品質保証部等の製造部門から独立した部門による品質監査でオイルダンパー検査機のソフトウェアの状況を定期的にモニタリングする。 |   |             |      |
| No  | 詳細  | 実施または完了予定年月 | 進捗状況 |
| 46  | 当社(KYB)品質本部は、2019年度にKSMに対してオイルダンパー検査機のソフトウェアの独立的監査を毎月実施し、年間を通じて問題ないことが確認されました。<br>今後も、定期的な監査を実施してまいります。 | 2020年3月完了   | 完了   |

### iii) 人為作業を介さない検査結果の自動記録化

▶戻る

| 具体策   |  |  |      |
|---|--|--|------|
| 性能確保に必要な生データ（設定値、入力値、計測データ等）を検査機内に自動的に保存するとともに、個々の製品が世の中で使用されている期間は本データを外部記憶媒体内(サーバなど)に自動的に保存される仕組みを導入する。 |  |  |      |
| No  | 詳細   | 実施または完了予定年月                            | 進捗状況 |
| 47  | KSMでは、2019年10月から導入を進めていた新検査システムにおいて、人為作業を介さず生データ（設定値、入力値、計測データ等）を社内及び社外のサーバに自動的に保存される仕組みに関して2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定、2020年5月に稼働予定で新検査機への一連の仕組みの導入を完了する見通しです。<br>今後、本仕組みを本格運用するとともに、既設の全検査機についても同システムへの移行を順次行ってまいります。 | 2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定<br>2020年5月に稼働予定 | 実施中  |

### iv) 検査プロセスの自動化推進

▶戻る

| 具体策  |  |  |      |
|--|--|--|------|
| 検査成績書出力までの検査プロセスを自動化することにより、データ改ざん防止の仕組みを導入する。また、抜き打ちで品質管理部門の責任者が生データと検査成績書を照合する等、チェックできる仕組みを導入する。 |  |  |      |
| No   | 詳細   | 実施または完了予定年月                            | 進捗状況 |
| 48   | a. KSMでは、2019年10月から導入を進めていた新検査システムにおいて、人為作業を介さず検査成績書出力までの検査プロセスを自動化する仕組みに関して2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定、2020年5月に稼働予定で新検査機への一連の仕組みの導入を完了する見通しです。<br>今後、本仕組みを本格運用するとともに、既設の全検査機についても同システムへの移行を順次行ってまいります。 | 2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定<br>2020年5月に稼働予定 | 実施中  |
| 49   | b. 当社(KYB)の品質本部は、2019年度実施したKSMに対する検査成績書と生データを照合する抜き打ち監査に関する記述を当社の品質監査規程に織り込んでおります。(2020年3月1日付改定)<br>また、今後KSMは本規程を準用しつつ、KSM自社の規程の改定を進めてまいります。   | 2020年12月完了予定                           | 実施中  |

## 具体策

生データへのアクセスが特定の者に制限されている仕組み、および第三者機関が生データを外部から随時チェックできる仕組みを導入し、生データの保全措置を図る。

| No | 詳細   | 実施または完了予定年月                            | 進捗状況 |
|----|--|--|------|
| 50 | KSMでは、2019年10月から導入を進めていた新検査システムが生データへのアクセス権を特定の者に制限しつつ、第三者機関が生データを外部から随時チェックできる生データに関する保全措置の仕組みに関して2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定、2020年5月に稼働予定で新検査機への一連の仕組みの導入を完了する見通しです。<br>今後、本仕組を本格運用するとともに、既設の全検査機についても同システムへの移行を順次行ってまいります。 | 2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定<br>2020年5月に稼働予定 | 実施中  |

## vi) 性能試験データのトレーサビリティ確保

## 具体策

オイルダンパーの製品の検査履歴・要求性能・生データを記録する媒体をオイルダンパー本体に装着するなど追跡調査可能な検討を行う。

| No | 詳細  | 実施または完了予定年月                            | 進捗状況 |
|----|---|--|------|
| 51 | KSMでは、2019年10月から導入を進めていた新検査システムにおいてオイルダンパーそれぞれの要求仕様及び検査結果をシリアル番号で一元管理し追跡調査可能な仕組みに関して2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定、2020年5月に稼働予定で新検査機への一連の仕組みの導入を完了する見通しです。<br>今後、本仕組を本格運用するとともに、既設の全検査機についても同システムへの移行を順次行ってまいります。 | 2020年4月に第三者審査及び評価を完了予定<br>2020年5月に稼働予定 | 実施中  |